

令和元年 第4回（9月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

9月19日（木）			
質問者			
通告第1号	19番	戸田 馨	
通告第2号	15番	互 金次郎	
通告第3号	14番	五十嵐惠千子	
通告第4号	13番	小野 潔	
通告第5号	9番	林 美希	
通告第6号	4番	松崎 誠	
通告第7号	20番	稲葉 剛治	

9月20日（金）			
質問者			
通告第8号	10番	妹尾 百合子	
通告第9号	8番	降旗 聡	
通告第10号	6番	濱田 美弥	
通告第11号	11番	佐藤 清治	
通告第12号	17番	稲垣 茂行	
通告第13号	3番	加藤 克明	
通告第14号	1番	遠藤 義法	

9月24日（火）			
質問者			
通告第15号	12番	小林 昭子	
通告第16号	2番	雪田 きよみ	
通告第17号	7番	岩田 京子	
通告第18号	16番	伊藤 正勝	
通告第19号	18番	斎藤 詔治	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 19番 戸田 馨	吉川市の減災防災力UPのために	<p>1. これまで市内各小学校区で、様々な団体のご協力のもと「減災プロジェクト」を開催し、市民の減災防災意識の向上が図られてきた。しかし、「行政区」と切り離して考えなければならないことに「医療」があり、災害時には自治体間での行政上の医療連携は欠かせないものであるとする。そこで伺う。</p> <p>① 災害時、行政区を超えた医療連携を図るために、医療関係者を含めた広域での減災プロジェクトの開催についての見解は</p> <p>2. 有事の際の「避難場所」を住民がしっかり把握することは、自助の意識を持つための原点でもあり、適切な「避難行動」を取るための基本的な知識として、また、自らの命を守るために、市民一人ひとりが確実に得ておきたい情報である。しかし、北部の調整区域の方々ととの会合の中で、地域住民が「避難場所」を確実に把握していない現状があることが明らかとなった。そこで市民一人ひとりの減災防災意識の更なる向上のために、以下について伺う。</p> <p>① 旭地区の自主防災組織の組織率は</p> <p>② 住民が避難場所を把握していないということへの対応は</p>	市長 担当部長
	水道事業について	<p>7月31日、「令和元年度第1回水道運営委員会」が開催された。新たな委員に横浜市立大学宇野二郎教授、新三郷浄水場の岡田和也場長が加わり、吉川市の水道事業に対し、専門的な目で見えた評価やご指摘をいただいた。また今後策定される「水道ビジョン」についての意見交換がなされる中、専門的視点から、これまでは見えてこなかった数々の課題も見えてきた。そうした意見交換の中から出た指摘も含め、今後の吉川市の水道事業をどのように考えるか、以下について伺う。</p> <p>① 有収率の推移についての見解(推移からみた水道事業の在り方等)</p> <p>② 県水、井戸水の割合について、井戸水の必要性についての見解は</p> <p>③ 水道運営委員会で出された有識者からの意見を踏まえ、吉川市の水道事業の課題をどのように捉え、「水道ビジョン」の中でどのように位置付け、打ち出してゆくのか</p> <p>④ 県水のポンプUP実施の計画について</p> <p>⑤ 水道イベントについて、今年はどうのような形で開催されるのか</p>	市長 担当課長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	空き家の実態把握の現状と今後について	<p>市内に多くの空き家がある。昭和40年代に造成された新栄地区をはじめ、歴史のある地域は特に「空き家問題」が顕在化し、地域住民にとって、精神的にも物理的にも大きなストレスになっているという声が多く届いている。そこで以下について伺う。</p> <p>① 市内全域の空き家数について</p> <p>② 「吉川市空家等対策協議会」内での話し合いの中で効力があつた案件について</p>	市長 担当部長
(続) 通告第1号 19番 戸田 馨	拉致被害者を救うための取り組みについて	<p>国家犯罪である北朝鮮による「拉致」の問題が、未だに解決に繋がらない現状にある。国民の1人としてできることは、この国家犯罪を許さず、一人ひとりが少しでも国に対し、問題解決への意思を示し続けることである。しかし、吉川市に暮らす市民がこの拉致問題について深く考えることができる環境は、残念ながら十分とは言えない状態である。そこで以下について伺う。</p> <p>① 拉致問題に対する吉川市、または学校教育での取り組みと現状</p> <p>② 教育機関における、北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」、救う会埼玉から提供されている「横田滋・早紀江からのメッセージDVD」、また映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」の利用の有無と今後の方向性について</p> <p>③ 拉致問題啓発舞台公演「めぐみへの誓い—奪還—」の吉川市での開催について</p> <p>④ 関係者を招いた講演などによる市民への啓発活動実施についての見解は</p>	市長 教育長 担当部長
通告第2号 15番 互 金次郎	避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置について	<p>避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置については、本年3月議会には代表質問にて「緊急防災・減災事業債」を活用し、体育館のエアコン設置も検討すべきと申し上げてまいりました。ご答弁として、「小・中学校体育館の空調設備の財源としての活用に当たりましては、使用が災害時のみに制限されていること、また、河川氾濫などによる水害時における避難所としての使用なども勘案した上で判断が必要」とのことでした。当該事業の近隣自治体の推進状況と、当市の現時点での見解をお伺いします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 15番 互 金次郎	電柱等に浸水深を表示し市民 防災意識の高揚について	本年3月に改訂された吉川市地域防災計画の風水害対策計画には、啓発活動の推進として「洪水ハザードマップを作成し、市民に周知」とありました。さらに、過去の災害教訓の周知という項目もあります。防災情報の可視化は、大変重要と考えます。電柱等に浸水深を表示し市民の防災意識の高揚を図ってはと考えますが、ご見解をお伺いします。	市長 担当部長
	おあしすにストリートピアノ を設置し市民の文化交流の推 進について	近年、駅ピアノ、空港ピアノなどいわゆるストリートピアノが、音楽を通した市民交流の場として広がりを見せています。おあしすにストリートピアノを設置し市民の文化交流を推進してはと考えますが、ご見解をお伺いします。	教育長 担当部長
通告第3号 14番 五十嵐恵千子	1. 多様性を認め合い、人権尊 重のまちづくり実現へ「パート ナーシップ認証制度」導入を	国における性的少数者LGBTへの取組としては、平成22年12月に閣議決定された第3次男女共同参画基本計画に「性的指向を理由として困難な状況に置かれている場合や性同一性障害などを有する人々については、人権尊重の観点からの配慮が必要である」という基本的な考え方が示され、第4次の同計画には、内閣官房、法務省、文部科学省、厚生労働省等の関係府省が担当府省と明記されました。 その後、平成27年4月には、渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例が施行され、同年11月には「パートナーシップ証明制度」が日本で初めて導入されました。こうした動きは全国的に広がり、現在、24自治体で同証明制度が導入され、今後も導入に向けた準備を進めている自治体もあるなど、LGBTへの取り組みが推進されています。先般、市内に住む当事者及び関係団体から「積極的な取り組みを」とご要望いただきました。当市におきましても、あらゆる性別、性的指向、性自認、性表現が尊重されるような社会環境の整備に取り組むとともに「パートナーシップ認証制度」導入を含めた性的少数者LGBTへの理解や施策の取組を促進すべきと考え以下質問いたします。 ①LGBTについて、当市もこれまで様々な取り組みを実施されていると思いますが、吉川市の教育、福祉、医療、就業（庁内職員含む）、その他の行政施策等において、性自認、性的指向による差別を許さないための諸施策は今現在、どのように取り組んでいるのか現況をお聞かせください。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 多様性を認め合い、人権尊重のまちづくり実現へ「パートナーシップ認証制度」導入を</p>	<p>②婚姻や事実婚などの関係にある異性カップルを「家族」という単位で供与するサービスや事務を同性カップルにも適用可能としている自治体も見受けられますが、吉川市で、同性同士で生活する者も含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度」を導入し、その存在を公に認めることで、吉川市を性的少数者であるLGBTの方々にとっても住みやすい、魅力あるまちにしていきたいと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第3号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>2. 安全・安心のまちづくり強化へ「自販機を活用した防犯カメラの設置」を</p>	<p>①平成30年12月議会一般質問にて、駅周辺・通学路・公園等、市民が要望する公共空間へ財政負担なしの「自販機を活用した防犯カメラの設置」を提案させていただき、ご答弁の中で「近年、幾つかの自治体では、防犯カメラの設置に関して基本方針や指針などを作成し、設置場所運用などを定めているので、今後は、駅前広場などの公共空間における防犯カメラの設置について、他の自治体の事例を参考にしながら検討…」といただきました。その後の進捗状況についてお伺いします。</p> <p>②通学路における緊急合同点検等の実施から、「今後は、児童の下校時は見守りの目を増やすことを検討したい」とのご答弁をいただきましたが、その後の進捗状況についてお伺いします。</p> <p>③この夏も危険な暑さが続きましたが、当市、自販機の無い公園が多くあります。防犯及び熱中症対策など、安全・安心で魅力的な公園とするためには「自販機を活用した防犯カメラの設置」は大変有効と考えますがご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 忘れがちな情報が届く「予防接種自動スケジューラ」導入を</p>	<p>平成30年6月議会一般質問にて、子育て中のご家庭からご要望をいただいていた「予防接種スケジューラ」の導入を提案させていただき、「切れ目のない継続した子育て支援の充実を図るため、種類や回数が多い予防接種ワクチンの接種忘れ防止とともに母子保健や子育て支援情報等の効果的な情報提供ツールとして検討を進める」とご答弁いただきました。その後の進捗状況についてお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 13番 小野 潔	治水対策について	<p>8月15日西日本を直撃した台風10号は、お盆休みの国民生活に多大な影響を与えました。また8月28日からの、秋雨前線による線状降水帯豪雨により、九州北部、佐賀県、福岡県、長崎県に甚大な被害をもたらし、関東地方に於いても大気的不安定から来るゲリラ豪雨を各地でもたらしました。この様な状況の中、市民の方々から、「吉川市は、たまたま豪雨から逸れているだけで、いつ浸水被害に見舞われるかわからない、吉川駅北口の浸水、南中学校周辺地域の水害は大丈夫なのか、治水対策は進んでいるのか」との声を多くいただいております、そこでお伺いいたします。</p> <p>①吉川駅北口地域治水対策としての（第一排水区）木売落し管路調整池について、6月議会の答弁では、昨今の豪雨状況を鑑みて「ポンプ施設の増強、自家発電施設の追加などの結果、概算事業費が増加し、国庫補助の導入基準である費用対便益の基準を下回った、そのため事業費の抑制を検討している」との答弁がありました。当初の事業計画との違いについて（増強・追加含め）具体的に教えてください。また事業費の比較、抑制の検討状況について、木売落し管路調整池の見通しについてご説明ください。</p> <p>②南中学校周辺地域（大場川5～38排水区）の水害対策について、6月議会では道路側溝の清掃点検、可搬式エンジンポンプの効果的な設置場所を検討し冠水被害の軽減を図る、中長期的には調整池なども検討」としてありますが、具体的に清掃状況、ポンプ設置場所、調整池の検討規模（貯水しなければならない量）等をお示しください。</p> <p>③駅南二郷半緑道沿い（木売、高富地域）の浸水被害の原因、対策について、また農繁期によく見られる二郷半用水から緑道への浸水原因、対策について。</p>	市長 教育長 担当部長
	市民の移動手段について	<p>少子高齢社会の急速な進展や高齢者による自動車事故の頻発、地域社会の変化に伴う市民の移動手段への変化や不安、要望が巻き起こってくる現状。喫緊の課題もあれば中長期的に見据えた将来像の在り方への期待もあります。そこで何点かお伺いいたします。</p> <p>①2018年6月に閣議決定された「未来投資戦略2018」では、重点分野の1つとして「次世代モビリティシステムの構築」が示されています。東京オリンピック・パラリンピックを見据え、2020年の無人自動運転サービスの実現を中心に様々なモビリティ手段の在り方と共に、統合型サービスの実現化に向けて制度整備が進められています。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第4号 13番 小野 潔</p>	<p>(続) 市民の移動手段について</p>	<p>本年6月8日、さいたま市、越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町の6市1町により「新たなモビリティサービスによるまちづくり協議会 (Ma a S協議会)」の設立記者会見が6市1町の各首長が参加して行われました。このMa a Sは鉄道、バス、タクシーなどの交通手段をICTを活用してクラウド化して統合していく、例として自動運転、カーシェアリング、シェアサイクル、オンデマンド交通、配車サービス等があげられ、予約、乗車、決済が1つのサービスで完結するというものです。そこでお伺いいたします、協議会に参加した当市としての所見、将来展望をお伺いいたします。</p> <p>②吉川市道庭にありましたスーパータジマの閉店、中曽根にありましたコンビニエンスストアミニストップの閉店に伴いまして、地域の方の買い物への不安の声を多くいただいております。吉川駅前や美南駅前のスーパーへ行くための移動手段が、主に南部を走る民間バスです。美南駅までの路線は1日1本しかありません、吉川駅へは1時間に1本、ない時間帯もあります。対策についてお伺いいたします。</p> <p>③タクシー利用料金助成事業について、事業開始から3年をめどに見直しを図っていくとされています。中間点まで来ましたが、この事業の現状、課題、今後についてお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第5号 9番 林 美希</p>	<p>公共空間、公有地の活用について</p>	<p>①市立小学校、中学校体育館の使用規則について 「吉川市小・中学校体育施設の開放に関する使用料条例施行規則」第5条において「学校体育施設を使用できるものは、市内に在住、在勤又は在学をし、定期的かつ継続的にスポーツ・レクリエーション活動を行う5人以上の者で構成され、かつ、成人の監督者がいる団体に教育委員会に登録されたもの（以下「登録団体」という。）とする」とある。市立小学校・中学校の体育館の使用用途をスポーツ利用に限定せず、幅を持たせるよう規則の変更を求めるが見解は。</p> <p>②公園への指定管理者制度導入について 量の整備によってストックされてきた公共資産である「公園」。 ・地域の特徴に合わせた市民ニーズへの対応・公園の賑わい創出・地域の魅力向上・自治会や市民団体の活動促進・市歳出における維持管理費（職員人件費含む）削減等を目的とし、市内近隣公園、街区公園において「指定管理者制度」を導入することを求めるが見解は。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第5号 9番 林 美希</p>	<p>(続) 公共空間、公有地の活用について</p>	<p>③吉川美南駅周辺について ・地域の魅力を構成する大きな要素として、吉川美南駅東口公園が多くのひとに愛され、利用されるものとするため、隣接する土地の利活用者と協議を進めていく必要があると考えるが見解は。 ・吉川美南駅東口各種ゾーンのステークホルダーを地域の商業的発展の受益者とし、BID (Business Improvement District) 制度の導入、BID 団体の設置を提案するが見解は。 ④公園の遊具について 「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」(国土交通省) 及び「遊具の安全に関する規準」((一社) 日本公園施設業協会) に基づく遊具点検の結果と、その結果に基づく対応は。 ⑤第三保育所跡地について ・第三保育所跡地活用の検討のスケジュール感と、考えられる利用方法は。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>起業・創業支援セミナーの開催を</p>	<p>起業・創業支援セミナーの中でも ・まちづくりへの参画の機運向上 ・男女共同参画・共生社会の実現 これらに寄与すると考えられる「コミュニティビジネス促進事業」が近隣自治体で実施されている。(例：草加市「3ビズ」) 同様の事業を実施することによって上記2点の効果が期待されると考え、吉川市においても実施を要望するが見解は。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>協働のまちづくり</p>	<p>①地域課題の協働による解決を促進するため、ファシリテーターの存在が重要であると考え、見解は。 ②ファシリテーター養成のための取り組みの有無、またその内容は。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第6号 4番 松崎 誠</p>	<p>1 まちの住みよさを高める</p>	<p>本年度の施政方針にある重点テーマⅣの「まちの住みよさを高める」の中で、「市民農園再整備」については、開設以来、市民の余暇活動や高齢者の生きがいの場、児童生徒の体験学習など、多様な目的で多くの市民に親しまれてきましたが、さらに農業及び地域の拠点として魅力向上を図るため、その一歩目として平成30年度は、既存施設の改修と併せ、ホテルの自生に向けた活動の場として、飼育施設を「ほたるの会」との共動により整備いたしました。また、今後の再整備を検討する調査委託を行い、民間事業者からの意見や提案を踏まえたモデルプランを作成し、現在分析を行っているところでございます。</p> <p>平成31年度は、引き続き既存施設の改修を進めながら、調査結果を基に地域に根差した持続可能な魅力溢れる施設となるよう整備内容を決定してまいります。とありますが、そこでお伺いをします。</p> <p>①市民農園の再整備事業において業務委託をした経緯は。 ②業務の目的 ③基本構想のテーマ、基本方針は。 ④導入する主な機能は、それと、隣接する予定地の「埼玉型ほ場整備事業」との関わりは。についてお伺いいたします。</p>	<p>担当部長</p>
	<p>2 スズメバチの駆除について</p>	<p>スズメバチの駆除については、市のホームページに市民の皆さんから「ハチの巣が出来たから駆除してほしい」との相談が多く寄せられていますと掲載されております。そこで、駆除件数、相談内容、対応等についてお伺いいたします。</p>	<p>担当部長</p>
<p>通告第7号 20番 稲葉 剛治</p>	<p>障がい者スポーツの振興について</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックのビジョンの一つに、「多様性と調和」というコンセプトで、「世界は多様であり均質ではなく、人類も多様であり均質ではない。人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的及びその他の考え方、国籍、社会的起源、資産、家計、障がいの有無などあらゆる面で異なる違いを肯定し、自然に受け入れ、互いを認め合う事で、平和を維持し、更なる発展を遂げる。それを目指すのがオリンピック・パラリンピック精神であり、それを可能にするのがスポーツの力であると確信している」と示しているように、日本は多様性と調和を求められています。</p> <p>吉川市では「ふれあいスポーツ大会」や、市制施行20周年記念事業から始まった「屋内スポーツ大会」など、様々な障がい者を対象としたスポーツに取り組まれています。2020東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、障がい者スポーツの振興につながる更なる取り組みについて基本的な市の考えを伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第7号 20番 稲葉 剛治</p>	<p>重大事態として認定されるまでの経緯と対処について</p>	<p>吉川市において、「いじめは、どの学校でも、どの子どもにも起こり得る」こと、また、「いじめは人として決して許されない人権侵害である」ことを常に意識し、さまざまな施策を行うことで、いじめの早期発見、解消に努めてきている。としています。</p> <p>地域の小学生、保護者、地域の方からいじめに関する様々な声が届いている事を前提に改めて市、学校のいじめに関する考え方、対応について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・今まで重大事態として扱った件数と具体的な事案について 2・重大事態と認定し、対処するまでに至る経緯、学校と市の情報共有はどのように行われたのか 3・重大事態に対してどのような対処を行ったのか 4・重大事態発生に対する市の見解を伺う 	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第8号 10番 妹尾 百合子</p>	<p>自治体クラウドの推進について</p> <hr/> <p>庁内業務の効率化について</p>	<p>総務省の自治体クラウドポータルサイトの冒頭に、「自治体クラウドは、近年様々な分野で活用が進んでいるクラウドコンピューティング技術を電子自治体の基盤構築にも活用して、地方自治体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、情報システムに係る経費の削減や住民サービスの向上等を図るものである。また、東日本大震災の経験も踏まえ、堅牢なデータセンターを活用することで、行政情報を保全し、災害・事故等発生時の業務継続を確保する観点からも、自治体クラウドの推進が求められている。」とある。</p> <p>吉川市の自治体クラウド利用現状について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①クラウド利用はしているか、利用している場合、どの部分か ②システム更新の時期はいつか ③維持費は毎年どのくらいかかっているか ④自治体クラウド導入について見解は ⑤災害時、事故発生時などの行政情報のデータバックアップ体制について、現状を伺う <p>2040年頃には経営資源が大きく制約され、より少ない職員での行政運営が必要となることを踏まえ、業務効率化やこれに資する業務の自動化・省力化が急務といわれている。また、職員の働き方改革に向けて業務の把握・改善は必要と考える。</p> <p>庁内業務の特に定型的な事務作業の負担が高いと思われる部門に、職員の負担軽減と作業の効率化を見込み、RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)の導入を検討されては如何か。</p>	<p>市長 担当部長</p> <hr/> <p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第8号 10番 妹尾 百合子	(続) 庁内業務の効率化について	①RPA ツールについて必要性を認識されているか ②RPA 導入で期待できる効果について (1)職員の業務負担をどの程度軽減できるか (2)行政サービスの迅速化と質の向上はどうか ③RPA 導入を検討されているか	市長 担当部長
	広報戦略について	「広報よしかわ」のマチイロ掲載、吉川市広報の twitter 運用、防災メールなど、様々な形でインターネットを利用した広報活動を行っているが、現状の効果と今後の展開について伺う。 ①SNS を活用した広報の効果は ②災害用など他分野の SNS 利用の検討は	市長 担当部長
通告第9号 8番 降旗 聡	生活道路の安全対策について	道路の維持補修については、市民から多くの要望が届けられています。幹線道路の整備については多くの方が早期完成を望んでいます。そして、生活道路の整備については、多くの方から日々、要望が届けられています。 当会派では、市民の声を受けて、昨年11月に提出した今年度の「吉川市予算編成における要望書」の中で、「生活道路に関わる後退道路の整備に努めること」と要望しました。そこで、以下について市の考えを伺います。 (道路整備) 2-437号線(保地内)、3-430号線(加藤地内) (後退を含む道路整備) 2-444号線(保地内)、2-105号線(保・栄地内)	市長 担当部長
	スポーツに親しめる環境づくりについて(中曽根グラウンド駐車場設置について)	当市では、平成13年3月に、きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言が告示されて、18年が経過をしています。第5次吉川市総合振興計画・後期基本計画でも示されているように、「市民が、心身の健全な発達と健康保持ができるよう、だれもがいつでもどこでもスポーツに親しめることができる環境づくりをめざします」と施策の目標が立てられています。 そうした中、市内には日々スポーツに励まれている方が多くいます。先日、ソフトボールを楽しんでいる方々から、「どうか中曽根グラウンドに駐車場の整備を」と望む声が届けられました。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
(続) 通告第9号 8番 降旗 聡	(続) スポーツに親しめる環境づくりについて (中曽根グラウンド 駐車場設置について)	そこで、中曽根グラウンドへの駐車場設置に向けた現状と課題、今後の方向性について、市の考えを伺います。		市長 担当部長
通告第10号 6番 濱田 美弥	元号、西暦併記が必要では また、性別の選択欄が必要な理由 は何か。	<p>2019年3月15日、元号と西暦併記の新免許 警視庁が全国に先駆け交付開始というニュースがありました。元号というものは国民に強制するものではなく、使用するかどうかは個人個人の自由です。公文書についても、年表記を元号にしなければならないといったルールはありません。また、元号だけの表記だと、何年前の出来事なのかを確認するのに、いちいち西暦に変換する必要があり、不便であったり、元号が変われば、ますます分かりにくくなります。特に今回の新中学校建設事業のように元号をまたがっての事業などは西暦の方が推移が分かりやすいです。</p> <p>地方自治体の中には、公文書に元号だけを用いてきた慣行を改め、西暦を併記する動きも見られます。市民の利便性を高める観点からは、西暦の併記が拡大される方が望ましく、この機会に、公文書の年表記の見直しを進めていただきたいが、お考えを伺います。</p> <p>また、市役所で記入する書類にはほとんど性別の選択欄があります。この選択欄が必要な理由は何かお考えを伺います。様々な性自認がある中で、戸籍上の性別を選び丸を付けることが苦痛な方も一定数いらっしゃいます。この際、一緒に見直し、性別選択欄が不要な書類に関しては改定をしていただけるかどうか、お考えを伺います。</p>		市長 教育長 担当部長
	ゾーン30整備と美南地区内交通標識などの整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道3・3・4号線沿いのセキ薬品吉川美南店周辺において、ベビーカーやお年寄りや歩道橋やダイヤパレス前の横断歩道まで回っていくのは大変で、時折まっすぐ渡ってしまっている方もいるため、歩行者用の押しボタン式信号と横断歩道が欲しいと住民の方から要望がありました。 ・ ダイヤパレス前交差点は通学路になっていますが、信号の変わり目では自動車の無理な右左折などが目立ち、歩行者や自転車を巻き込みそうになるのを見かけてヒヤッとします。ここから消防署北側の交差点の中間に押しボタン式の横断歩道があると、危険な交差点を通学路にせず済みます。 		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) ゾーン30整備と美南地区内交通標識などの整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・美南中央公園付近の交差点は見通しが悪く、中曽根跨線橋から出てくる車は歩行者の通るところを通り過ぎてから停止していて、いつ児童との事故が起きるか分からないくらい危険です。先日は車同士の事故も起きました。狭さくなどの対策を取っていただけませんか。 ・吉川中学校北側は見通し悪く、これから通学路になる場所ですが心配な個所です。一方通行などの措置をとられては。 ・同じく吉川中学校 南カーブ、車のスピードを落とすためのハンプ等の対策が必要です。以上、開校までに対策が急がれる場所等ですが、市のお考えを伺います。 	市長 教育長 担当部長
	成人式について	成人年齢が2022年春から18歳に引き下げられます。成人式は事前に様々な準備が必要なため、早めにお知らせしていくことが求められます。吉川市での開催場所・開催方法等のイメージ、また周知方法などを伺います。	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第10号 6番 濱田 美弥	吉川中学校の生徒数について・市内中学校の今後について	<p>今回、事前調査により、吉川中学校に通う生徒数が確定したと聞いていますが、具体的に何年生が何人になったのかをお示してください。</p> <p>事前調査について、配布された手紙の文面、時期、締切などについてお示してください。子どもや保護者は、どのような情報に基づき、行先を決定したのか、また、何回程度選ぶ機会があったのか、今後も考えが変わった場合には選択できるのか、などお聞かせください。</p> <p>今後の各学校の維持改修などの計画と、生徒数の推移について、市のお考えがあればお伺いします。現在、市内中学生の総人数は2100人、2028年（令和10年）には総数は2084人、しかしながら何らかの対策をしないと東中学校は191人になるとのデータをいただいています。各学校の特色をしっかりと打ち出し、各自の要求に合わせて自由に選択できるようにしていくべきと考えますがいかがでしょうか。また、現在の自転車の通学路の安全対策についても危険な個所が無いか、把握されているか、併せてお伺いします。</p>	市長 教育長 担当部長
	吉川市教育大綱・教育振興基本計画・吉川市教育行政重点施策について	<p>(平成26年7月17日付文部科学省初等中等教育局長通知「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について」より以下抜粋)</p> <p>『地方公共団体の長が有する大綱の策定権限は、教育委員会の権限に属する事務を管理し、執行する権限を地方公共団体の長に与えたものではないことを確認的に規定したものであること。』</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第10号 6番 濱田 美弥	吉川市教育大綱・教育振興基本計画・吉川市教育行政重点施策について	<p>大綱の記載事項については『大綱の主たる記載事項は、各地方公共団体の判断に委ねられているものであるが、主として、学校の耐震化、学校の統廃合、少人数教育の推進、総合的な放課後対策、幼稚園・保育所・認定こども園を通じた幼児教育・保育の充実等、予算や条例等の地方公共団体の長の有する権限に係る事項についての目標や根本となる方針』とあります。</p> <p>『教育振興基本計画その他の計画を定めている場合には、その中の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置付けることができると考えられることから、地方公共団体の長が、総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、当該計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はない』とも書かれています。</p> <p>「教育振興基本計画その他の計画」に置き換えるお考えはあるかどうかをお伺いします。</p>	市長 教育長 担当部長
通告第11号 11番 佐藤 清治	国保税を支払えるものに 大規模改修と小・中学校トイレの様式化を 体育館のエアコン設置は	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税の引き下げをすること ・低所得者向けの国保税の減額、免除制度の拡充をはかる ・法定外繰り入れは減額するのではなく増額すること ・子どもの均等割りを減額すること ・滞納世帯の短期保証書、資格証の発行の見直しをすること ・「埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金」活用実態はどうなっているか <p>・洋式化についての市の考え方と洋式化の計画について具体的に示していただきたい</p> <p>・小学校の大規模改修の実施時期はいつか</p> <p>・災害時の避難所となる体育館への設置が急がれるが市の対応は</p>	市長 担当部長 教育長 担当部長 教育長 担当部長
通告第12号 17番 稲垣 茂行	「中央土地区画整理事業」の進捗状況と今後の予定	<p>「中央土地区画整理事業」は、吉川市中央土地区画整理組合が総事業費144億円で74.8haの地域を組合施行で行っている土地区画整理事業です。</p> <p>計画人口5,100人、減歩率30.1%、市の負担金は総額28億円ですが技術支援として現在は4名の職員が派遣されています。平成8年から事業が始まり、すでに22年を経過しています。この間、移転交渉の難航、東日本大震災等による補助金交付の低迷により事業の推進が図れず、遅滞が見られました。</p> <p>そうしたことから、これまで数度の事業計画の変更を行い、直近では平成28年4月に</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第12号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>(続) 「中央土地区画整理事業」の進捗状況と今後の予定</p>	<p>変更認可を得て、事業の精査、資金計画の見直し事業期間、補助事業等の延伸を行いました。事業完了は令和5年(平成35年)に予定されています。今年度からはいよいよ「換地処分」に入り、その後「清算金の処理」を実施し事業の完了を迎えます。</p> <p>そこで、これまでを振り返りつつ事業の現状と今後の予定、課題等について質問をいたします。</p> <p>1 事業の進捗状況と今後の予定</p> <p>①使用収益開始面積、保留地契約面積等</p> <p>②「換地処分」「清算金処理」の実施時期と内容・方法。また、実施にあたっての課題</p> <p>③事業計画変更(最終)の予定及び内容</p> <p>2 財政支援と人的支援について</p> <p>①市の実質負担額と補助金(国・県)の内容と額。負担割合は</p> <p>②人的支援(技術支援)を無償で行う理由・根拠</p> <p>3 税収について</p> <p>①地域内人口の現状と事業完了時の見込み数</p> <p>②税収額の総額と内訳(固資・都計・市民税)、完了時の見込み額</p> <p>4 その他</p> <p>①これまで行ってきた「事業計画見直し」の主な理由</p> <p>②現計画の保留地処分金額と最終見込み額</p> <p>③事業地内の町名・地番の変更時期と居住者への周知方法</p> <p>④区画整理事業及び新たな住宅地としての地域特性をどのように捉えているのか</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第13号 3番 加藤 克明</p>	<p>総合運動公園グラウンドの進捗状況について</p> <hr/> <p>コンビニエンスストア収納率向上について</p>	<p>平成30年度議会一般質問で、総合運動公園グラウンドについて「研究のための検討する」と答弁をいただきましたが、その後令和元年度では、どのような取り組みをされたでしょうか。進捗を伺います。</p> <hr/> <p>多くの市内コンビニエンスストアで市税など徴収を取り扱っていただくことにより、大幅に収納率がアップしました。しかしながら、まだ一部のコンビニエンスストアでは、市民税や軽自動車税等取り扱えないものもある。他自治体では取り扱っているのに、なぜ、吉川市ではできないのかと、声が寄せられている。収納率アップのため、市民の利便性を確保するためにも、市内全てのコンビニエンスストアで収納ができるように対応されるには如何か見解を伺います。</p>	<p>市長</p> <hr/> <p>市長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	1. 公共施設・インフラの整備とその財源確保は	<p>公共施設・インフラの長寿命化を図るため公共施設等管理計画が策定されました。基本的な考え方や取り組みの方策も示され、推進体制も明記されています。これまで、点検・診断等実施されていますが、個別施設・インフラの整備計画を策定し、予防保全を重点的に行い施設の長寿命化を図るとしています。</p> <p>具体的に、中央公民館、市民交流センターおあしす、児童館ワンダーランド、保健センター、総合体育館、橋梁などの施設状況、改修の必要性などどのように把握されているのか。またその改修計画と改修・更新費用について具体的にお聞きします。</p> <p>総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築を図るとしていますが、その体制づくりと効果的整備のための国・県との連携と財源確保の見通しは。</p>	市長 担当部長
通告14号 1番 遠藤 義法	2. 越谷吉川線の安全対策、渋滞解消策は	<p>①吉川橋の架け替え、越谷吉川線の工事が進められていますが、今後の工期日程を伺います。</p> <p>②中央中学校南側、栄町1327地先に横断歩道が計画されていますが、歩行者用信号機が設置されないため封鎖されたままです。信号機設置の見通しは。</p> <p>③越谷吉川線とさくら通りの交差点（さくら橋）、右折帯の混雑解消の対策を実施すべきです。</p>	市長 担当部長
	3. 吉川市がめざすべき施策と財源の確保策は	<p>全国的に人口減少が進む中で、吉川市は2025年くらいまでは人口が増えると思われています。市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で分析とまとめと課題を各5項目あげています。課題は、</p> <p>①比較的良好な環境を、今後も維持・向上していくことが必要</p> <p>②市内で安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる充実が必要</p> <p>③遅れてくる高齢化の波に備えた対策が必要</p> <p>④市民も吉川市を選んでいただくためのアピールが必要</p> <p>⑤将来のまちを担う子供への「教育」の充実が必要</p> <p>今住んでいる市民がこれからも住み続けたいまちをつくるのが大事であると考えます。それぞれの課題について、市はこれまでどのような事業を行い、今後どのような施策を図る計画か伺います。さらに事業実施に伴う財源の確保や見通しについてもお聞きします。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	1、1級河川大場川改修事業 現況と見直し	平成28年3月、地域説明会が開かれ、2倍の流下能力実現に向け河川改修がスタートしました。①当初の計画と現在までの進捗状況。②今後の見直しについて。③事業の進行は中野等市内の水害対策に対応するものであり最近の気候変動を見ると一刻を争う重要な事業です。更なる促進の要望を強めていかなければならないと考えるが見解を。④同時に地権者にとっても、家の立ち退き、建て替えの時期等々また違う悩みを抱えています。地権者に定期的に事業報告を行うなどの配慮を講じるよう県に要望を。	市長 担当部長
通告第15号 12番 小林 昭子	2、きれいなまちづくり ゴミ・雑草雑木のない、白線の きれいな道路を	<p>3月議会で、きれいな街づくりの1つとして草木の伐採を取り上げました。水路沿いの雑木など該当する箇所を指摘していただければとの答弁いただき対応もいくつかしていただきました。長期に渡り、地先の人に対応しているケース、木が大きくなって枝払いに苦労しているケースもみえています。これでは中々きれいにならず中途半端です。県道の歩道部分、大場川沿いも同様です。県に適切な管理について要望をしていただきたい。特に大場川沿いは年2回の伐採では無理です。</p> <p>また、市内公園の草も子どもの夏休み前にも関わらず伸びている等、決められた月、回数ではなくどうしたらきれいで住みよい状態を提供できるかを第一に考えるべきではないか。指摘待ちではなく、道路パトロール時チェック項目にして点検するなど伐採の徹底を図っていただきたい。街中の歩道の花壇、植樹部分の手入れの悪さが目立ち市民から指摘されることも多い。手入れが出来ないのであれば無理な植樹はやめたらどうだろうか。東口開発では駅前に植樹の公園が計画されていますが、市内事業者に意見聴取を。</p> <p>ゴミパトロールでのごみ投棄の現状・特徴など、投棄量の推移は。早朝やジョギング時に路上のごみを日常的に拾っている市民は少なくない。これらの取り組みは市民の日常的協力をいただいていることをどう認識しているのか見解を求める。苦情に対して対応してもらえないとの苦言も聞くがどのように対応しているのか。</p> <p>白線について、随分きれいになって道路景観が良くなりました。定勝寺近くの常磐道の下あたりはまだ対応されていないようなので市内全域見るとどのような状態なのか。今後一定の終了時期は。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第15号 12番 小林 昭子	3、市街化調整区域のまちづくり基本方針の作成を	<p>吉川市の3分の2を占めている市街化調整区域を我が市のまちづくりにどう生かすか、大きなキーワードです。</p> <p>①三輪野江地区の将来開発検討エリアとされている常磐自動車道南を中心とする地域の開発の現状は、事業所の建物の間になった（従来の）道路が雑地のようになり、工場か資材置き場か分からない状態で操業する事業所からの騒音、振動、ゴミ等の飛散、残土置き場等の周辺の道路問題等が発生している。一方しんきぼり沿いの通学路の整備はなぜか後回し等、今のままでは住民にとっては負の面ばかりです。市民が一定期待をもって見ている、「平成27・28年に行った土地利用に関する懇談会」に基づき、近隣でも作っているように吉川市でも「市街化調整区域のまちづくり基本方針」の作成をぜひ住民参加型で続けていただきたい。見解を求める。</p> <p>②市長キャラバン後の「千葉大学との包括支援協定」の進捗状況について。</p>	市長 担当部長
	4、障がい者施策の現状と課題 就労支援はどこまで進んだのか	<p>市は、障がい福祉課を独立させ障がい者施策の推進を図ってきました。</p> <p>①総合的に一スタートした時の課題はどのように進んできたか。今後の課題は。</p> <p>②ヘルプカードのその後の取り組みと課題。フレンドパーク、障がい者ホーム、なまずの里開設、障がい児発達支援センターの独立など、取り組みが進んでいる。良かった点と課題。今後の展望。</p> <p>③市に寄せられる就労相談、施設利用に対してどの程度充足されているのか。市役所就労体験事業と市役所での就労拡大は。</p> <p>④様々な取り組み、早期からの支援は、成人後もバリアーなく社会参加や就労できるための支援と考える。そのため、市は障がい者就労支援検討会も立ち上げました。検討会の進捗状況。内容はどう施策に反映されるのか。</p> <p>⑤高齢期障がい者の現状について。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第16号 2番 雪田 きよみ</p>	<p>1. いくつになっても健康で、 生き活きと暮らせるまちづくりを。</p>	<p>高齢社会が更に進行する中で、今「フレイル予防」が注目されています。健康な状態から要介護状態に至るまでの間の状態、「虚弱」を予防することで、健康寿命の延伸を図るという考え方です。</p> <p>「フレイル」は身体的・精神的・社会的問題から起きることが明らかにされています。最初に起きるのは人とのつながりの低下、社会的問題であることも柏スタディの結果などから明らかにされています。健康寿命の延伸のためには、高齢者を社会的に孤立させないための施策が求められています。</p> <p>WHO 世界保健機構は「社会的決定要因」の1番に「社会格差の是正」を挙げ、「どの社会でも最下層部に近いほど平均寿命は短く、疾病も多いので、健康政策で最も重視すべきは社会格差の是正である」としています。4番には「社会的排除」、10番には「公共交通機関の整備」を挙げています。</p> <p>①フレイル予防に向けた市の取り組みを教えてください。 ②加齢性難聴の方の補聴器購入費用を助成する自治体が増えていきます。市の考え方を教えてください。 ③フレイル予防の観点からの公共交通についての考え方を教えてください。 ④読書の健康寿命延伸効果についても、近年注目されています。特に高齢者の読書推進に向けた取り組みを教えてください。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>2. 市民の命と暮らしを最優先にする市政の徹底を</p>	<p>今年4月、重度の難病患者さんに向けた職員の発言がYahoo ニュースをはじめ、テレビ・新聞など様々なメディアで報道されました。</p> <p>中原市長の謝罪文に対し、ご本人様から「吉川市に愛着があるからこそその抗議。今後の市政運営に期待」とのコメントが寄せられたとのことで、安堵しています。</p> <p>しかしこの一件から、市としても教訓としなければならないことがあるのではないかと考えています。見解を教えてください。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第16号 2番 雪田 きよみ	3. 多様な性の平等参画を。	<p>LGBTは普段ほとんど公然と語られることのない性意識・性行動にかかわる事柄であり、当事者がカミングアウトしなければ事態が表面化しないために、「最後のマイノリティ」と言われてきました。しかしその割合は5～7％と言われており、決して少なくはありません。この間、性の多様性を認め合い、性的マイノリティへの差別をなくし、誰もが個人の尊厳を尊重される社会の実現を求める運動が広がっています。</p> <p>①LGBT、性的マイノリティについての市民からの相談内容と、市の取り組みを教えてください。</p> <p>②同性カップルにも異性カップルが結婚しているのとほぼ同等の権利を認める「パートナーシップ条例」を定める自治体も少しずつ増えています。また国立市ではLGBTなど性的マイノリティの性的指向を、本人の意図に反して暴露する「アウティング」を禁止する全国的にも珍しい条例を定めています。</p> <p>こうした条例について、市の見解を教えてください。</p> <p>③中学校の制服について、既にスカート・パンツを選べるようにしている自治体があります。非常に大切な取り組みと考えています。市の考えを教えてください。</p>	市長 担当部長
通告第17号 7番 岩田 京子	吉川市における持続可能な循環型社会構築に向けた取り組みについて 休日における学童・保育園の開設について 「勇者の旅」プログラムについて	<p>①ごみ減量の取り組みについての目標と成果・課題。また、これから第1工場が今後の検討に入るにあたり、吉川市の姿勢を示していく必要があると思うが、市の長期的な方向性をお聞きしたい。</p> <p>②東埼玉資源環境組合は出されたごみを処分するところであり、ごみの有り様に関しては、自治体の役目となっている。5市1町広域で、市民と共に今後のごみ政策について検討する場を、吉川市としてはどう考えているか。</p> <p>③吉川市のエネルギー政策についての進捗状況。</p> <p>サービス業に就いている割合が年々増加している中で</p> <p>①保育園・学童に通われている世帯の保護者が日曜日就労している割合。</p> <p>②該当世帯において日曜日の子どもの預け先について</p> <p>③ひとり親、共稼ぎ世帯が増える中で、市内で1ヶ所は日曜日開所の保育園、学童が必要と思うが、どのように考えているか。</p> <p>北谷小学校で行われた認知行動療法をとりいれた「勇者の旅プログラム」の成果と課題、今後の取り組みについて</p>	市長 担当部長 市長 担当部長 市長 各担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第17号 7番 岩田 京子</p>	<p>LGBT (性的少数者) が生きやすい吉川市へ</p>	<p>①平成27年度6月議会においてLGBTを様々な人権問題の一つとして位置づけ、市民及び市職員に対する人権啓発活動の実施と、人権相談の開設について言及しているが、その後の取り組みは。</p> <p>②窓口等でLGBTへの対応はあるか。実態把握はされているのか。</p> <p>③LGBTの自認は、幼少期の方もいれば、結婚後に自認に至る方もいる。特に幼く若い時の自認は話せる相手に乏しく、苦しいものがある。LGBTの方の3分の2が自殺を考えたことがあるといい、うつ状態や自傷行為の危険性が高く、心の大きな負担につながっています。多くのLGBTの方が小中学校など子どもたちの相談相手に当事者が必要だといいますが、学校における相談体制はどのようになっているのか。</p> <p>④令和2年の教科書が選定されたところだが、出版社によっては道徳や保健体育などでLGBTについて取り上げられているものもあるが、吉川市の教科書はどうか。</p> <p>⑤解決のための事業としてパートナーシップ制度がある。現在26自治体で導入されているが、吉川市はどのように考えているか。</p> <p>⑥トイレ、更衣室など男女の区別のある施設での対応について</p>	<p>市長 教育長 各担当部長</p>
	<p>東口開発・公園ワークショップの成果・課題</p>	<p>①ワークショップの進め方について。</p> <p>②公園のイメージ図について、WSメンバーの評価を踏まえた上での所感は。</p> <p>③今後の予定。</p>	<p>市長 各担当部長</p>
<p>通告第18号 16番 伊藤 正勝</p>		<p>「人生百年の時代」。いま小学生の児童は、推計で半数以上が100歳以上を生きることになるという。超高齢社会の到来。どう向き合うのか。「笑顔の高齢者」。健康長寿の社会づくりは少子化対策とともに国と地方が一丸となって取り組む課題です。国は今年2月、高齢社会対策大綱を。6月には認知症施策推進大綱を決定。年齢による画一化を見直し、“エイジレス社会を目指す。”地域の生活基盤や地域コミュニティづくりの大切さ。その構築。AIやインターネット活用を柱にした方向を打ち出しています。また認知症については高齢者の25%が認知症またはその予備軍と見込まれることを明らかにし、▽正しい理解と▽サポート▽共生の地域社会づくりを進める▽さらに予防の方策についても掲げています。</p> <p>今回はこの「高齢社会」の施策について照準を合わせるとともに「幼児教育無償化」「貧困対策」。関連しての「学校給食」の拡充と提供。さらに「働き方改革」に関連しても質問を重ねます。</p>	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第18号 16番 伊藤 正勝	高齢社会対策大綱について	対策の柱は100歳時代を見据えて▽年齢による画一化を見直しエイジレス社会を目指す。▽地域の生活基盤や共生のコミュニティづくり▽AI等の活用ということです。 質問①この施策の大綱をどう受け止めているか②これまでの取り組みの強化や新たな取り組みについてのご説明を。③対策は団塊の世代が75歳を超える2025年を当面の区切りとしている。吉川の高齢者の推移。2025年の推計。ピーク時の年次と推計。④老人センターの指定管理者公募も今後を見据えた取り組みと受け止める。シルバー人材センターや社会福祉協議会、民生児童委員のあり様についてもポジティブに見直しは。課題や見直し、今後のスケジュールなどを伺いたい。	市長 担当部長
	認知症施策推進大綱に関連して	高齢者対策の大綱は広範で多岐にわたる。今回は認知症施策推進大綱に絞り込んでの質問にします。①認知症についての理解。取り組みの現状及び今後について。②サポーター要請など認知症サポートの現状と今後の拡充方針。③共生の地域社会づくり。現状はどうか。何が必要なのか。地域包括ケアシステムとの関係を含めご見解を。④「予防策」への啓発や取り組みは。その実状と今後について。⑤認知症施策の展開にあたり数か所モデル地区で先行、試行することもあっていいのでは。見解を伺います。	市長 担当部長
	「幼児教育の無償化」について。	子育ての支援、画期的な制度変更。自治体のトップとしてどう受け止め評価しているか。今後の課題や取り組みを含め総括的に見解を伺っておきたい。	市長 担当部長
	子どもの「貧困対策」の推進。	吉川市は30年度子どもの貧困対策推進計画を作成し公表。▽子どもの成長支援▽居場所づくり▽学習・進学支援▽食育の支援▽未来基金の創設などを掲げています。質問①具体化に向けての一步前進の実状のご紹介を。②施策の推進を常時協議する場が必要と考えるが。現状やメンバー、その役割は。③未来基金の創設。フードドライブなどの取り組みは。	市長 教育長 担当部長
	「学校給食」の提供・拡充について。	「学校給食センター」を拡充し多様に提供、活用しては。提案を交えての質問です。①学童保育児童への夏休みの時期での提供。教育と福祉の分野で推進策を練り実現を目指さないか。②施設の拡充やセンターの運営・管理の見直しも視野に。如何ですか。③給食メニューの料理教室や誰もが出来る「手軽な料理教室」の開催。食事は生活の基本。子ども達の自立を促すことにもなります。如何ですか。④並行して高齢者対策への展開も。「共生の地域づくり」や「コミュニケーション」のツールにもなると思います。	市長 教育長 担当部長
	働き方改革と働き方改革について。	前知事の上田さんはまず職員の意識改革。成果を出す経営体にするに努めたという。働き方改革と同時に働き方改革もテーマ。今後の市政展開の方向と決意を伺っておきます。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第19号 18番 齋藤 詔治</p>	<p>旧庁舎解体杭抜き工事請負変更契約は建設事業者が負担すべきで吉川市の支払は納得できない。 残置杭11本の杭抜き費用が6000万円係るから今は杭抜きせず先送りとの中原市長の答弁杭抜きは早急に実施すべきです。</p>	<p>私は、旧庁舎解体工事は下記等の理由により反対してきています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成29年9月議会質問、旧本庁舎は、解体をせずに平屋建に減築改修し、福祉施設など多目的利活用を図っては。 同12月議会、本庁舎並びに第2庁舎の解体を早急に行わず、多目的施設として利活用すべきです。 平成30年3月議会・改修工事の上2000㎡施設に有効活用を、本庁舎解体工事費3億円予算化された、この予算で実施を。 同6月議会、旧庁舎解体工事は多くの問題がある、これを解決した後に契約をするべきです。 同6月議会、旧庁舎解体工事請負契約の締結は認められない。 同9月議会、多くの問題を抱えての旧庁舎解体工事、まず充分調査確認を得、全ての不安を解消の上進めるべきです。 平成31年3月議会・旧庁舎跡地の杭抜埋戻し工事により、今後予想される地盤沈下等による隣接地被害対策として専門家による十分な調査の実施を早急に行い、今後の瑕疵担保責任が予測される今後問題が発生しないよう努力すべきです。 同3月議会、旧庁舎杭抜き工事請負契約の変更契約は契約金額約金1800万円(16本の杭抜き分)の市民の税金を、無駄に使うべきではない。 令和元年6月議会において、杭抜き工事全112本中11本の杭が抜かれず地中に残置していると総務部長が説明。 質問議員から説明に対しそをついたことになる指摘され総務部長は私の不徳といたすところと思っておりますと答弁。 この前に他の議員の質問に対し、中原市長自ら11本残っている残置の杭全部抜いた場合は概算6000万円ほどの金額がかかる。なお周りの影響も計り知れないために埋める判断をしたと答弁。 今日まで部長は建物を壊した後の杭は産業廃棄物になる、全ての杭は抜きますと言ってきていながら、これは大変無責任です。また中原市長の発言も私が杭を抜くと多くの問題が今後生じるため杭抜きは止めてくださいと訴えてきた、その通りの答弁をここにきて言っています。 中原市長はじめ担当者の責任は重大です。杭抜き工事を先送りせず早急に実施すべきです。 	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第19号 18番 齋藤 詔治</p>	<p>吉川美南駅東口周辺開発区画 整理事業の推進状況 同事業の保留地処分金の増加 が見込まれますがどのように 対応するか。</p>	<p>1. 多くの事業が進捗していると思われるが説明願います</p> <p>1. 活力ある商業ゾーン・産業ゾーンの構築へ向け、パートナー事業者募集・選出状況について伺います。 吉川市と参加企業によるパートナー事業者は、今日までどのような日程で何回開催し何を協議したか、各進出企業要望などの検討結果をお伺いいたします。</p> <p>1. 第1回、産業ゾーンの一部の事業者募集が行われます。 募集業種として食料品製造業、画地面積①②各 7000 m²の2区画、最低売買単位 1 m² 10万6千円・10万4千円です。応募条件として事業計画・建築計画・審査項目に価格評価等が示され、保留地の処分（入札による売買）が行われます。 ・画地①②は産業ゾーンの中では、駅から5分に位置する一等地です。 ・一等地に食料品製造業者を選定した理由。 ・画地面積 7000 m²、最低処分価格、応募条件・審査項目の比重等の決定理由。</p> <p>1. 吉川市は、保留地処分金収入計画の見直しを行い吉川市民の財源確保と地権者への余剰金の清算を明確にし、早急に地権者との合意を図るべき。</p>	<p>市長 担当部長</p>